

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月10日

1 基本事項	
公の施設の名称	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人竹の子作業所
指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)
施設設置条例の名称	相模原市立津久井障害者地域活動支援センター条例
施設の設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与を行い、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条) 地域生活支援事業の地域活動支援センター型を実施。
施設概要	敷地面積 : 416.89㎡ 延床面積 : 229.67㎡ 主な施設 : (1階) 作業室、事務室、食堂兼集会室、更衣室、トイレ (2階) 休養室、更衣室、予備室
施設所管課の名称	健康福祉局 福祉部 障害政策課

2 管理実績							
項目(単位)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数合計(人)	3,619	3,433	3,660	3,766	3,755	3,697	
収入総額(円)	15,724,432	15,797,401	16,337,731	16,759,081	16,778,233	15,633,805	
支出総額(円)	15,724,432	15,797,401	16,337,731	16,759,081	16,778,233	15,633,805	

3 成果指標の達成度	
指標名(単位)	開所日1日当たりの平均利用者数 単位 : 人
指標式と指標の説明	年間延利用者数 ÷ 開所日数 利用率の向上に向けた指標

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値(人)	14.10	14.15	13.95	14.00	14.05	14.10	14.15
実績値(人)	14.89	14.30	15.20	15.56	15.58	15.00	
達成度(%)	105.6%	101.1%	109.0%	111.1%	110.9%	106.4%	0.0%

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	・利用者の高齢化・重度化が進み、利用者数が減少しているが、成果指標の目標値は達成した。 ・利用者の状況に合わせて日中活動の内容を見直すなど、充実した活動ができるように改善を図っている。
事業・業務の履行状況	A	・事業実施計画に基づき、計画的に事業を実施している。 ・給食の提供やイベントにおいて地域のボランティアや団体の協力体制ができ、地域における施設の認知度が高い。
利用者満足度の向上度	A	・保護者との連絡帳や利用者との面接を実施し、利用者のニーズを把握している。 ・家庭的な雰囲気重視しており、利用者職員との関係も良いため満足度が高い。
財務状況の適正性	A	・法人の規模は小さいが、経営状態は安定しており問題はない。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「D」と「E」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「D」と「E」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
 - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
 - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画どおり事業行っている。 ・利用者と職員との良好な関係が築かれており、安定的な支援を実施している。 ・利用者及び保護者の加齢に伴い、これまで当施設を毎日利用していた利用者が他サービスを併用して利用日数が減少している。近隣のサービス事業所等と連携し、利用者のニーズに合わせた支援を検討するとともに、新規利用者増加に向けた取組を望む。
------	---

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年7月10日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者の意見や保護者の要望を汲み入れた運営を行っており、利用者の満足度が高い。 ・利用者及び保護者の加齢に伴い、相談機関や他サービス事業所との連携が必要になってきている。他機関との連携を強化すると共に、今後も利用者や家族が安心した地域生活を営めるよう支援のあり方を模索することを期待したい。